

組織活動の全体を視る

見えている世界があるが、
見ているとは限らない。見える
はずであるが、見たいところ
以外は消えている。

キャリア・アップしていく人は、組織と社会の全体を視て、
自分の仕事と組織を考えている。

視野は次第に拡大する。

リスクを小さくしようとして目的が小さくなっていく。

仕事の責任はまっとうしなければ
ならないが、仕事の枠に
取り込まれてはならない。

